

授業科目名： 日本語アカデミック・ライティング		担当教員名： 宮崎 七湖	
選択/必修： 選択	単位数： 1	開講学期： 1 後	開講言語： 日本語

ディプロマポリシーとの関連

国際社会の知識	政策分析能力	英語コミュニケーション能力
●		

○授業の到達目標及びテーマ

この授業では、中上級から上級レベルの学生が日本語でレポート、研究発表要旨、学术论文などを書く力をつけることを目的としています。このような学術的文章の中でよく使われる文型・表現や展開パターンを学び、実際に使う練習をします。

また、レポートや論文を書く上で、どのように AI を活用できるのかも考え、AI を正しく使うことができるようになることを目指します。

○授業の概要

学術的文章の書き方を段階的に学びます。第1回と2回では、書き言葉や文体など、文章作成に必要な基本事項を学習します。第3回からはレポートや論文の一般的な構成に従って、学習を進めていきます。レポートや論文の構成要素とそれぞれの構成要素で使われる文型や表現と典型的な文章の展開パターンを学習して、最後にその展開パターンと文型・表現を使って文章を書く練習をします。

○授業の方法

まず、各課の導入であるクイズに答えます。次にその課で扱う文章の構成要素を確認し、構成要素の配列による文章の展開パターンを学習します。そして、その構成要素に見られる文型・表現を学習します。最後に、文型・表現の使い方と展開パターンの読み取り練習をします。毎回、文章を書く課題を出します。

○授業計画

- 第1回 コース・オリエンテーション／自己紹介を書く・自分の研究を説明する
- 第2回 作文の基本 (2) 書き言葉
- 第3回 課題の提示
- 第4回 目的の提示
- 第5回 定義と分類
- 第6回 図表の提示
- 第7回 変化の形容
- 第8回 対比と比較
- 第9回 原因の考察
- 第10回 列挙
- 第11回 引用
- 第12回 同意と反論
- 第13回 帰結
- 第14回 結論の提示
- 第15回 総復習

注1) スケジュールは変更する可能性があります。

注2) 本科目は、日本語能力が「日本語能力試験(JLPT)」においてN2相当の学生が履修することが

できます。

注3) テキストや授業内容は受講生の日本語習熟度を見て、変更する可能性があります。

○テキスト

アカデミック・ジャパニーズ研究会編著(2015)『改訂版 大学・大学院留学生の日本語④論文作成編』アルク

○参考書・参考資料等

1. 小森万里・三井久美子(2016)『ここがポイント！レポート・論文を書くための日本語文法』くろしお出版
2. 二通信子他(2009)『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版

○学生に対する評価

課題	80%
クラス参加度・貢献度	20%

○オンライン授業に切り替えた場合の授業形態

授業形態 : オンライン授業 (リアルタイム配信型)
資料・連絡事項掲載場所 : 担当教員に確認